

報道関係者各位
プレスリリース

本発表は、Absolute Software 米国本社のプレスリリース抄訳版です。原文は[こちら](#)からご覧いただけます。

Absolute Security、Safe Connect と Comply を組み合わせた Secure Access Enterprise Edition を発表

2024 年 11 月 20 日

Absolute Software 株式会社

- 新しいモジュールを採用し、最適化されたユーザーエクスペリエンスを実現する準拠性の高い包括的な SSE を提供
- ファームウェア組み込み型のレジリエンスプラットフォームにより、常時オンで完全稼働の SSE を実現

米国シアトル - 2024 年 11 月 13 日 – 企業のサイバーレジリエンス分野をリードする [Absolute Security](#) は、セキュアアクセス用の新しい Safe Connect とセキュアエンドポイント用の新しい Comply Module を組み合わせた Secure Access Enterprise Edition を本日発表しました。これらの新技術を備えた Enterprise Edition は、リモートワーカーおよびハイブリッドワーカーに最適化されたユーザーエクスペリエンスを提供しながら、安全な準拠デバイスだけが企業ネットワークにアクセスできるようにする、唯一の包括的なセキュリティサービスエッジ（SSE）です。ファームウェアに組み込まれたレジリエンス機能により、SSE の回復性、常時オン、および完全に動作し続けることが保証されます。

「ハイブリッドワーク、複雑さ、ランサムウェア、そして満足いかないユーザーエクスペリエンスは、看過できない頻度でシステムの障害や停止を引き起こします。こうした要因はパフォーマンスを低下させて業務が中断するような事態を招き、何十億ドルもの損失につながります。」Absolute Security のチーフプロダクトオフィサー、John Herrema はこう語ります。「今回 Absolute Security が提供するの、最新の脅威やリスクに対する防御態勢を維持し、生産性を最大限に確保する唯一の包括的プラットフォームです。」

新しい **Safe Connect** : 準拠性の高い包括的かつ最適化された SSE を実現

- 動的なゼロトラストネットワークアクセス（ZTNA）ポリシーをエンドポイントに適用
- インライン CASB、データ損失防止、セキュアウェブゲートウェイ（SWG）、リモートブラウザアイソレーション（RBI）
- 新しい Comply Module との統合により、[米国防総省（DoD）レベルの Comply-to-Connect（C2C）](#) を実現
- [AI Threat Insights](#) により、異常な接続やデータフローを監視・検知
- 最適化されたユーザーエクスペリエンスを実現するデジタルエクスペリエンス管理（DEM）
- 常時オンの「切れない」接続により、リモートワーカーおよびハイブリッドワーカーの生産性を最大限に確保

新しい **Comply** Module : デバイスの連続的な場所特定と準拠性評価を行い、非準拠・紛失・盗難デバイスに対してファームウェアベースの保護を実施

- デバイスの場所特定とジオフェンスの定義により、許可されたエリアに使用を限定
- 重要セキュリティ・管理対策（暗号化、EPP、XDR、UEM など）の準拠性と健全性を評価し、必要不可欠なアプリケーションが必要に応じて動作していることを確認
- 非準拠・紛失・盗難デバイスをリモートでフリーズし、不正なアクセスから保護

「場所に縛られない働き方が進む中、エンドポイントはビジネスを行う際のメイン手段となっています。しかし残念ながら、複雑さによる障害や、攻撃に先立って防御を崩す脅威アクターにより、エンドポイントが無防備な状態に置かれることがあります。そして、これが重大な業務中断やセキュリティ侵害につながります。」こう話すのは、Frost & Sullivan のシニアプリンシパル、Jarad Carleton 氏です。「リモートワーカーおよびハイブリッドワーカーのユーザーエクスペリエンスを損なうことなく、確実な保護を提供するエッジセキュリティ技術の需要は、今後ますます高まると考えられます。セキュリティと機能面に力を入れるプロバイダーは、幅広い業界や企業に支持されるでしょう。」

Absolute Secure Access Enterprise Edition は、柔軟性を重視して設計され、**Absolute Resilience Platform** で動作します。デバイスおよびユーザーベースのライセンスでご利用いただけます。オンプレミス型の導入にもクラウド型の導入にも対応しています。詳しくは [ブログ](#) をご覧ください。

[従来の SSE を超えて : Safe Connect により準拠性の高い包括的な SSE へ](#)

Absolute Security について

Absolute Security は、世界の大手デバイスメーカー 28 社以上と協業し、6 億台のデバイスのファームウェアに組み込まれています。世界中で数千社のお客様から支持され、1,600 万の PC ユーザーにご利用いただいています。デジタル企業に Absolute Security のサイバーレジリエンスプラットフォームを融合することで、リモートワークやハイブリッドワーク中に世界のどこからでも安全で途切れない接続を確保できるほか、サイバー攻撃・中断があっても素早く事業を復旧できるようになります。受賞歴のある Absolute Security の機能の数々は、「[ゼロトラスト ネットワークアクセス \(ZTNA\)](#)」、「[エンドポイントセキュリティ](#)」、「[セキュリティサービスエッジ \(SSE\)](#)」、「[ファームウェア組み込み型パーシステンス](#)」、「[自動セキュリティ対策評価 \(ASCA\)](#)」、「[ゼロトラストプラットフォーム](#)」といった複数の技術カテゴリーで評価され、リーダーとして認められています。詳しくは、<http://www.absolute.com/ja/> をご覧ください。また、[LinkedIn](#)、[X](#)、[Facebook](#)、[YouTube](#) をフォローしてご確認ください。

【当プレスリリースに関する問い合わせ】

Absolute Software 株式会社
電話 : 03-6427-1976
メール : sales-japan@absolute.com



Absolute Security、Absolute、Absolute のロゴ、NetMotion は、Absolute Software Corporation ©2024 またはその子会社の登録商標です。すべての権利は当社が保有します。ここに記載されているその他の名称またはロゴは、Absolute またはそれぞれの所有者の商標である可能性があります。™や®の記号が各商標の近くにない、または全く記載されていない場合でも、関連商標の所有権を放棄するものではありません。Absolute Security は Crosspoint Capital の投資先企業です。